

平成29年度 診療科別DPC14桁別症例数トップ5

※同じ患者数が同順位で複数の場合は症例数順のDPCコード順とし、患者数等について10未満の数値の場合は、-（ハイフン）で示しております。

※本データは、入院時等にDPC請求対象外すなわち出来高算定等による件数は含まれておりません。

消化器内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術手術・処置等2ーなし	150	10.0	8.7	0.7%	72.1	
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔腫瘍手術等手術・処置等2ーなし 副傷病なし	64	8.2	10.6	7.8%	71.1	
060130xx99000x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)手術なし手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ーなし 副傷病なし	43	4.5	7.4	2.3%	66.9	
060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	35	4.2	7.9	0.0%	71.9	
060035xx03xxxx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	34	6.6	7.4	0.0%	68.0	

《解説》

当科では、食道・胃・大腸の病気に対する内視鏡検査やITナイフによる早期癌の内視鏡治療を、国立がんセンター中央病院(東京)と連携を保ちながら最新技術を提供しています。「苦痛のない、精度の高い内視鏡検査と治療」を目指し、早期の胃がんの内視鏡治療や大腸ポリープの内視鏡治療を多く行っています。外科や腫瘍内科と協力して分子標的薬剤による化学療法、腫瘍切除など集学的治療を行っています。

腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
060035xx99x60x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2ー6あり 副傷病なし	81	6.0	4.5	0.0%	66.7	
060040xx99x60x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2ー6あり 副傷病なし	63	5.7	4.4	0.0%	70.4	
090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2ー4あり 副傷病なし	58	7.7	4.5	0.0%	56.9	
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2ー5あり 副傷病なし	53	5.6	4.4	0.0%	65.9	
060040xx99x50x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2ー5あり 副傷病なし	41	6.9	4.3	0.0%	62.2	

《解説》

当科は消化器がん、乳がん、肺がん、卵巣がんなど固形がん全般に対する抗がん剤治療と緩和医療を専門とする診療科です。
その中でも、消化器病センターの一員として消化器がんの抗がん剤治療を担っていることから、大腸がん、胃がんの治療件数が上位を占めています。当科では適切な標準治療を提供するばかりでなく、数多くの臨床試験、治験などに参画してよりすぐれた治療の開発にも取り組んでいます。
また、腹膜播種を伴う胃がんに対する腹腔内化学療法を先進医療の枠組みで行っています。

膠原病・リウマチ内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
070560xx99x0xx	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 手術なし 手術・処置等2ーなし	35	24.8	17.2	2.9%	61.0	
070470xx99x6xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2ー6あり	25	2.2	2.9	0.0%	69.4	
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2ーなし	10	7.9	13.7	10.0%	70.8	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

《解説》

当科では、関節リウマチ、膠原病などの自己免疫疾患を専門としています。インフリキシマブなど生物学的製剤の点滴静注を短期入院で行っています。また、ステロイド剤、免疫抑制薬や生物学的製剤に伴う合併症、間質性肺炎などの重症疾患の対応をしています。

糖尿病・内分泌内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	バス
100070xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)(手術なし 手術・処置等2-1あり 副傷病なし)	21	16.6	14.3	4.8%	61.4	
100070xx99x000	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)(手術なし 手術・処置等2-なし 副傷病なし)	16	12.3	11.2	0.0%	66.9	
100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし 副傷病なし	12	7.5	5.8	0.0%	51.8	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

《解説》

2型糖尿病に対する入院が多く、その多くは糖尿病の合併症評価を行いつつ、糖尿病に対する理解を深めて頂くテキスト指導、ならびに栄養指導や運動療法の指導を行って患者の自己対応能力を向上させるような教育入院になります。また、低血糖などにより緊急搬送となるケースもあります。血糖値が高く手術が行えないような場合には、血糖を当科でコントロールした後手術や内視鏡処置となるケースもあります。他には下垂体疾患や副腎腫瘍に対しての精査を行う症例も一定数いらっしゃいます。

血液内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	バス
130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	71	16.7	16.5	0.0%	74.3	
130030xx99x30x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2-3あり 副傷病なし	25	18.3	28.6	4.0%	70.8	
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2-2あり	18	41.0	41.0	0.0%	73.4	
130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2-4あり 副傷病なし	18	40.9	33.4	11.1%	72.1	
130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2-3あり	12	30.8	34.5	0.0%	66.4	

《解説》

当科においては血液悪性腫瘍の患者が大半を占めています。特に非ホジキンリンパ腫が多くを占めていますが、これは当科の特色というよりは血液悪性腫瘍において非ホジキンリンパ腫が圧倒的に頻度が高いことによるものです。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	バス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1-なし、1,2あり 手術・処置等2-なし 副傷病なし	52	4.6	4.6	0.0%	69.8	
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-2あり 手術・処置等2-なし 副傷病なし	48	3.1	3.2	0.0%	70.6	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-1あり 手術・処置等2-なし 副傷病なし	43	3.3	3.0	0.0%	69.0	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし 副傷病なし	28	18.2	17.7	17.9%	76.3	
050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(観血的なもの)等 手術・処置等1-なし、1あり 手術・処置等2-なし 副傷病なし	23	6.2	5.7	4.3%	75.5	

《解説》

循環器内科では、他疾患で当院通院中や他の医療機関からのご紹介の入院が多く、労作性狭心症や下肢閉塞性動脈硬化症などの動脈硬化症疾患やうっ血性心不全などの治療を行ってきました。平成29年度から、循環器救急を開始しており、急性冠症候群や急性心不全などを含む急性期の循環器疾患にも積極的に対応していきたいと考えています。

外科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし 副傷病なし	95	6.2	7.4	0.0%	60.0	
060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 手術・処置等2-なし	68	13.8	17.3	1.5%	70.6	
060035xx01000x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし 副傷病なし	60	16.3	15.6	1.7%	70.5	
060040xx02x00x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等2-なし 副傷病なし	36	18.3	17.5	0.0%	60.8	
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	27	4.8	5.6	0.0%	46.6	

《解説》

消化器癌の中で特に胃癌、大腸癌に対する手術の件数が多くなっています。当科では消化器癌手術に積極的に腹腔鏡手術を導入しており、胃大腸手術の7割以上を腹腔鏡で行っています。化学療法を組み合わせた治療や、肛門温存手術も多く行われています。ほとんどの手術にクリニカルパスを導入し、治療の標準化がなされています。

心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。) 単独のもの等 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-1あり	12	23.2	23.3	16.7%	70.8	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

《解説》

狭心症に対する冠動脈バイパス術については基本的に人工心肺装置を用いず心臓を動かしたまま行うオフポンプ手術を行っています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	46	25.5	27.1	65.2%	82.5	
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 手術なし 副傷病なし	24	13.9	19.9	62.5%	71.7	
070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	23	13.3	22.4	56.5%	82.2	
070343xx01x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等2-なし	22	21.4	21.7	22.7%	73.3	
070350xx97xxxx	椎間板変性、ヘルニア その他の手術あり	21	17.2	16.5	14.3%	49.8	

《解説》

高齢者の骨粗しょう症関連骨折の救急搬送が増加しており、上記DPCコード症例が上位となっています。手術後には歩行訓練などのリハビリ治療を行います。長期的に専門的なリハビリ治療が必要となるためリハビリ専門の病院に転院していただく場合があります。

耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
030350xxxxxxx	慢性副鼻腔炎	53	6.9	7.2	1.9%	48.2	
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	44	4.9	5.5	0.0%	40.5	
100020xx01x0xx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等2ーなし	35	10.0	9.2	0.0%	60.4	
030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	23	8.1	7.6	4.3%	53.0	
030230xxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	17	8.1	8.0	0.0%	24.5	

《解説》

甲状腺悪性腫瘍では、縦隔郭清・気管切開孔を行う症例が平均在院日数を押し上げていると考えます。

形成外科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
080180xx99xxxx	母斑、母斑症 手術なし	202	3.3	3.2	0.0%	4.3	
140620xx97xxxx	その他の先天異常 手術あり	128	10.7	11.1	0.8%	31.0	
070590xx97x0xx	血管腫、リンパ管腫 手術あり 手術・処置等2ーなし	78	7.3	14.3	0.0%	23.8	
160200xx0200xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。)鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1ーなし 手術・処置等2ーなし	29	7.1	5.6	0.0%	39.3	
140620xx99xxxx	その他の先天異常 手術なし	22	3.6	7.5	9.1%	19.5	

《解説》

当科では、乳幼児の母斑に対するレーザー治療の症例が一番多く行っております。
また、血管奇形や血管腫の治療も多く行っています。

婦人科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	81	7.3	6.3	0.0%	42.7	
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	40	6.3	6.4	0.0%	35.2	
120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	32	3.0	3.1	0.0%	36.7	
120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 副傷病なし	31	6.7	7.7	0.0%	40.3	
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	28	9.7	9.9	0.0%	45.5	

《解説》

平成29年度に当院婦人科・生殖内分泌科で治療をした患者さんの平均年齢は41.9歳で、比較的若い年齢の割合が多くなっています。これは妊娠目的に受診されている患者さんが多いことが影響していると思われます。

当院は一般不妊治療から内視鏡下手術、高度生殖医療まで広範囲に治療を行うことができる特徴があることから、地域連携病院から妊娠、あるいは婦人科腫瘍の治療を目的とした内視鏡下手術的に連携病院から紹介され、受診されています。

可能な症例は積極的に内視鏡手術で治療していることから、平均在院日数は約7日となっています。術後も早期回復できるため、転院することなく、退院後早期に社会復帰されています。

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
110200x02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術	135	8.3	7.6	1.5%	74.2	
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 1-なし 手術・処置等2-なし	47	7.3	7.3	0.0%	71.5	
110420xx97xx0x	水腎症(その他) その他の手術あり 副傷病なし	15	7.3	5.2	6.7%	67.9	
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2-なし	14	8.6	12.3	0.0%	67.4	
110080xx02x0xx	前立腺の悪性腫瘍 精巣摘出術 手術・処置等2-なし	13	3.7	6.1	0.0%	81.3	

《解説》

尿管狭窄や尿管結石に対し尿管ステントを積極的に留置しています。前立腺肥大症や早期膀胱がんに対し、お腹に傷が残らない 経尿道的手術を第1選択に治療を進めています。

放射線科

DPCコード	DPC名称	症例数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	パス
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎(尿管)悪性腫瘍手術等 手術・処置等2-なし	23	3.8	12.3	0.0%	56.9	
060050xx97x0xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。) その他の手術 あり 手術・処置等2-なし	19	9.2	11.4	0.0%	77.0	
140620xx97xxxx	その他の先天異常 手術あり	13	4.9	11.1	0.0%	37.5	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

《解説》

当院は癌治療を中心に据えた高度急性期病院という位置づけに有り、特に内科系の診療科、外科とも消化器がんに高度な医療を提供しているため、肝悪性腫瘍の患者数が多く、その中で、切除不可能や化学療法の効果がない患者さんが当科が提供する画像化治療(IVR)の対象となっています。平均在院日数は 9.2日 で全国平均11.4日と同程度です。その他、先天異常は大部分が血管奇形ですが、当院には形成外科に血管腫・血管奇形センターが設置されており、全国から多様な患者さんが受診しております。当科では主に血管塞栓術による治療を行っています平均在院日数は4.9日で全国平均11.1日と比較して短い期間で治療しています。。全国に先駆けて当院にMRI対応冷凍手術器が導入され、腎がんの凍結治療を積極的に行っているため腎腫瘍の割合が多くなっています。凍結療法は身体的負担が少なく、短期間の入院で治療可能な為、平均在院日数は3.8日で全国平均12.3日と比較して1/2以下になっています。